

計画事業番号	00616	事務事業名	市道整備事業(単独)	担当部署	建設部都市整備課	電話	748
--------	-------	-------	------------	------	----------	----	-----

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	道路法、道路構造令			
事務事業開始年度	平成18年度		個別計画等				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ハード事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 5 章)	快適な生活環境のまち
	(第 3 節)	道路の整備
	(施策 1)	市内幹線道路・生活道路等の整備
2 対象	沿線住民及び通行車両	
3 目的と内容	未改良区間や老朽化した路線の整備を拡大し、安全で快適な道路環境を確保する。	
4 実施内容 (手 段)	2 7 年 度 ま で	全体計画延長 L=5,916m 南ヶ丘4号線(完了) 道路改良 L=505m、大曲幸1号線(完了) 道路改良 L=220m 輪厚中の沢線(完了) 歩道整備 L=3,840m、輪厚仁別線(完了) 交差点改良 L=263m 共栄12番緑道(完了) 雪止柵設置、階段補修、駅西口広場(完了) ロードヒーティング設置、バスシェルター補修 大曲工場7号線 詳細設計 大曲団地2号線 詳細設計、用地取得
	2 8 年 度	大曲工場7号線 道路改良 L=130m 大曲団地2号線 道路改良 L=127m

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
大曲工場7号線 測量設計 大曲団地2号線 道路改良 L=90m	大曲工場7号線 測量設計 大曲団地2号線 用地測量、 用地取得	大曲工場7号線 道路改 良 L=130m 大曲団地2号線 道路改 良 L=127m	大曲団地2号線 道路改 良 L=223m (仮称)大曲工場1号支線 測量設計				(仮称)大曲工場1号支線 L=100m

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	現状継続とする。歩行者や車両等の通行の安全を確保するため、引続き事業を進める。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			4,445	57,150	53,925	35,600
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0
		道支出金	0	0	0	0
		地方債	4,000	51,400	48,500	31,900
		その他特財	0	0	0	0
		一般財源	445	5,750	5,425	3,700
		① 合計	4,445	57,150	53,925	35,600
	人件費	② 人数(年間)	0.50	0.50	0.50	0.30
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	4,500	4,500	4,500	2,700
総事業費①+④			8,945	61,650	58,425	38,300

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	①整備延長	目標値 実績値	5,100	5,268	5,491	5,591
	②	目標値 実績値				
	③	目標値 実績値				
	④	目標値 実績値				
成果指標	①整備率	目標値 実績値	86.2	89.0	92.8	94.5
	【累積整備延長/全体計画延長】	実績値	84.7			
	②	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	③	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	道路を利用する歩行者や車両等の通行の安全を確保するために行政が道路整備を行うことは妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	老朽化した路線の再整備や安全施設の設置を行うことにより通行の安全が確保されていることから、計画どおりに成果があがっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	事業を実施することにより安全で快適な道路環境の確保が図られている。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	道路の新設や改築に際しては、常にコストの縮減を図りながら事業を進めている。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---